

鳥大附小の魅力紹介

2020 vol. 2

ウィズコロナの学習活動

鳥取大学附属小学校で行われているさまざまな魅力いっぱいの取組をご紹介します！

新型コロナウイルスに対する学校生活面での対応については、前号でご紹介しました。猛暑に見舞われた今夏は熱中症対策も重要になっています。今回は昨年度末からの**新型コロナの学習面への影響とその対応策**についてご紹介したいと思います。

政府により3月2日から春休みまですべての学校の臨時休業の要請のほか、その後の緊急事態宣言などの影響で、一時は学校の9月入学制まで真剣に議論される事態となりました。鳥取県でも感染者は増加しつつも、いまのところ日常の生活や学校活動に大きな支障が生じる事態には至っていません。それでも昨年度3月の休業(3/2~3/24)で積み残した前学年の学習内容や、緊急事態宣言での臨時休校(4/27~5/6)と、その直前に4月に鳥取市内で感染者が発生したため附属学校園全体で4/20から休校の前倒しを行いました。

休校の期間は、子供たちには**プリントや副教材を使った学習**を家庭でもしてもらいました。現在準備中のGIGAスクール構想でタブレット端末を1人1台ずつ使用できるようになれば、家庭でも利用してもらうことで休校中でもオンラインでの取組も可能になるかも知れませんが、そうならないことを祈るばかりです。

学校再開後は、各学年での**年間の学習計画の見直し**や、**3密になる行事の延期・中止などで学習時間を確保**しつつ、秋以後も時間的に余裕をもって学習に取り組めるように配慮しています。限られた時間で学習内容を坦々と学ぶだけでなく、**例年並みの理解・習熟をしっかりと確保**できるよう、各学年の学習の進捗状況などの情報交換を密に行っています。

本校の特徴的な取組に「**キャリアに拓く**」や「**知財創造教育**」、「**教育実習**」があります。大学のさまざまな資源を活かし、児童が見学や体験を行うものですが、これについても感染症予防の工夫をしながら実施の準備を進めています。

こうしたなかで思わぬ副産物もありました。昨年度末の卒業証書授与式は、感染症対策のため6年生児童と保護者、教職員のみで執り行いました。例年であれば他の学年も参加し賑々しく行いますが、そのための予行演習にも多くの時間を費やしていました。今回は直前まで休業となったために例年に比べると準備に充てる時間が少なかったのですが、当日は滞りなく式を終えることができました。このことから、例年必要以上の時間を予行演習に使っていたことが分かり、**本校児童が短時間の準備でも集中して対応できる能力**の高さを持っていることを私たちに教えてくれ、大いに今後の参考になりました。

